

中部知多衛生組合の財政状況

ここにお知らせする財政状況は、組合の収入及び支出状況、財産、組合債の状況等を皆さんに正しく理解していただくために毎年5月と11月に公表しているものです。

今回は、平成29年度決算状況と平成30年度予算の上半期（4月～9月）の執行状況についてお知らせします。

平成29年度決算

施設は、昭和61年稼動以来32年目を迎え、耐用年数を超過する設備・機器等が多く、施設全体の老朽化が進行するとともに、汲取り便槽の水洗化等による浄化槽の普及により、し尿等の搬入性状が当初設計負荷と比較して希薄化しているため、施設運営の効率化が困難な状況となっています。

こうしたなか、継続的かつ、安定した処理機能の確保、循環型社会に資する処理システムへの転換を目指し、平成27年度に策定しました「し尿処理施設整備方針検討業務」を基に、下水道放流方式への改修整備に向け進めていくなかで、本年度は、今後実施予定の延命化基本計画等及び改修工事を循環型社会形成推進交付金対象事業として国・県に申請するために「地域計画」及び「生活排水処理基本計画」の策定を委託しました。また、施設の維持管理等におきましては、施設の老朽化に伴い維持補修費等が年々増加するなかで、下水道放流方式への改修整備まで施設を合理的に運転し経費削減を図るため、前年度に引き続きユーティリティー管理及び補修工事等を含めた包括的な委託を行いました。これにより、機器設備においては計画的な工事・修理等を行いつつ突発的な故障にも柔軟的に対応することができ、順調な運転を続けることができました。

決算状況をみますと、歳出は2億8,772万4,491円で、前年度に比べ2,828万円余の減額となりました。これは、総務費において、退職した組合職員の給与及び退職手当による人件費が減となったことが主な要因であります。

生し尿等の収集量は、公共下水道の面整備の進捗、接続人口の増加によって、引き続き減少していくものと推測しますが、今後も施設の効果的な運営及び維持管理を図るとともに、下水道放流方式への改修整備に向け進めてまいります。

歳入歳出額の比較

(単位：千円)

区 分	28年度	29年度
歳 入	327,402	299,109
歳 出	316,005	287,724
歳入歳出差引額	11,397	11,385

目的別

(単位：千円：%)

区 分		予算額	決算額	構成比
歳 入	分担金及び負担金	283,086	283,086	94.6
	繰越金	11,396	11,397	3.8
	諸収入	4,834	4,626	1.6
	計	299,316	299,109	100.0
歳 出	議会費	755	707	0.2
	衛生費	293,560	287,017	99.8
	公債費	1	0	—
	予備費	5,000	0	—
	計	299,316	287,724	100.0

性質別

(単位：千円：%)

区 分	金 額	構 成 比
人件費	26,558	9.2
物件費	260,748	90.6
補助費	418	0.2
計	287,724	100.0

組合債の現況

借入先	現在高
なし	なし

組合財産の状況

建 物	土 地
17,358.00 m ²	4,820.38 m ²

30 年度上半期予算執行状況表

組合管内の状況

人 口 222,179 人
世 帯 93,417 世帯

平成 30 年度とは、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までをいいます。ここに掲げました数値は 9 月 30 日現在のものです。

(単位:円:%)

区 分		予 算 額	予算執行済額	執 行 率
歳 入	分担金及び負担金	316,913,000	158,461,000	50.00
	国庫支出金	5,310,000	0	0.00
	繰越金	1,000	11,385,155	—
	諸収入	4,901,000	1,981,703	40.43
	計	327,125,000	171,827,858	52.53
歳 出	議会費	647,000	47,820	7.39
	衛生費	321,477,000	110,951,587	34.51
	公債費	1,000	0	0.00
	予備費	5,000,000	0	0.00
	計	327,125,000	110,999,407	33.93